

水深制限が解除された石巻港に大型船舶が入港！

～宮城県港湾関係災害復旧事業 完成第1号～

平成23年3月11日発生の東日本大震災に伴う災害復旧事業の内、宮城県の港湾関係で第1号となる“石巻港雲雀野地区航路・泊地（-13m）浚渫工事”が完成し、大型船舶が支障なく航行することが可能になりました。

石巻港の航路・泊地は津波によって一部に計画水深よりも浅い箇所が確認されたため入港最大喫水が10.3mに制限されていました。これにより大型船は他港で積荷の一部を荷揚げする等を強いられ、輸送コストが増加していました。

そのため、石巻港産業・物流復興プラン（平成23年8月5日、石巻港復興会議）において、平成23年11月までに震災前の水準に戻す方針が決定され、10月末に計画水深13mに掘下げの工事を完成させました。

11月25日に大型石炭運搬船が積荷制限なしで初入港しますので、その状況の公開とあわせて工事内容を説明します。

○整備効果

- ・航路泊地が浅くなった影響により、他港で積荷の石炭を荷揚げし入港喫水を調整のうえ石巻港に入港していましたが、復旧工事の完成によって5.5万トンの大型船が積荷制限なしで入港できることとなりました。復旧工事完成前の2港での荷揚げと比較すると年間1.6億円の輸送コスト縮減効果が見込まれます。

○入港状況等の公開・説明

- ・11月25日（金）午後3時に雲雀野中央ふ頭（別紙参照）にて公開・説明します。
- ・取材希望の方は、前日迄に下記宛に電話又はE-mailにより社名・連絡先を添えて申し込み下さい。
- ・入港日時は変更の可能性があるため、前日までに当事務所ホームページでお知らせする他、申し込みされた方に連絡します。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ】

【申し込み・問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所

ホームページ；<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/shiogama/>

E-mail；info-s82ah@pa.thr.mlit.go.jp

企画調整課 渡部、柳沼

TEL 022（362）9512

石巻港出張所 菅原

TEL 0225（94）1643

【石巻港雲雀野地区航路・泊地(-13m)浚渫工事の概要】

工 期；平成23年9月6日～12月9日(浚渫工事；10月9日～29日)

工種・数量；グラブ浚渫 66,000m³ (小学校のプール約200杯分)

※浚渫後の深淺測量をもとに、第二管区海上保安本部により12月中旬刊行予定の海図に成果を取り込む予定。



【入港予定船舶の諸元】

船舶：DYNA CRANE(ダイナクレーン)

船型：船長189.99m、船幅32.22m、満載喫水12.3m、総トン数：31,279ト

満載積荷量：55,705ト (今回積荷量；約5万ト)

入港時の喫水：11.8m※

※喫水に対して10%の余裕が必要なため水深13mに対する最大喫水です。(11.8×1.1≒13.0m)

【取材場所案内】

